氏名	森田満理子	部署	部署 福祉子ども学専攻		准教授					
研究分野	幼児教育									
学位	修士(教育学)									
学歴	1993年 埼玉大学教育学部幼稚園教員養成課程卒業、1995年 埼玉大学大学院教育学研究科学校教育専攻学校教育専修修了									
経歴	2008年 川口短期大学こども学 福祉学部准教授	科講師、2014年	埼玉県立大学保健医療福祉学部調	構師、2018年 埼∃	玉県立大学保健医療					
所属学会(役職)	日本保育学会、日本発達心理学会									

【2022年度実績】

	【2022年度実績】									
1.	研究業績									
()	(1)著作									
	著作の名称		単・共	ISBN	発	行所、全ペーシ	ジ数	著者、編者名		発行等年月
1	「絵本で心の世界を広げる手助けを」『学 校保健専門誌心とからだの健康』第26巻 10号		単著	あり	株式会社健学社、全7 ジ(pp.76-78担当)		′8ペー	8ペー 森田満理子、学校保健研究会編集		2022年10月
(:	2)論文									
	論文の名称		単・共	査読	IF対象誌	* 象誌 雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ		著者、編者名	著者、編者名	
1	該当なし									
(:	(3)学会発表									
	学会発表の演題		単・共	・共学会名、開催都		開催都市	発表者(発表者は○印)			発表等年月
	該当なし									
(4	4) その他						ı			
	名称		単・共		発表場所等 発表者(発表者は○印)		発表者(発表者は○印) 		発表等年月	
-	該当なし									
2.	2. 競争的資金等の研究									
	競争的資金等の名称				研究名		研乡	R代表者・研究分担者の別 	研究期間	
1	文部科学省科学研究費 基盤研究(C)		コロナ禍による虐待増加を防るための新しい子育て相談体 構築			研究分担者 2		2022年度~2024年度		
3.	教育業績									
()	l)講義									
	講義の名称									
1	教育方法論(幼)(於:埼玉県立 大学)	0	15			映像と文字記録による事例をもとに、意見交換をしながら学びを深められるようにした。			びを深めら	
2	幼児教育における学び(於:放送 大学埼玉学習センター)	0	8			幼児教育について初めて学ぶ履修者が興味をもてるように、 記録による事例を多数取り入れた内容で構成した。			映像や文字	
()	2)演習									
	演習の名称	科目責任者	=	マ数		概要	(教育	内容・方法等において工夫し	た点)	
1	保育内容・指導法(言葉)(於: 埼玉県立大学)	0	15			事例検討など、具体的な保育実践を題材としてグループ討議・発表を行うなどして、学びが深まるようにした。			・発表を行	
2	保育内容・指導法(人間関係) (於:埼玉県立大学)	0	15			事例検討など、具体的な保育実践を題材としてグループ討議・ うなどして、学びが深まるようにした。			・発表を行	
3	保育内容・指導法(総論) (於: 埼玉県立大学)	0	13			指導案の作成と模擬保育のうえ、意見交換を通した振り返りを通した学 びができるようにした。			を通した学	
4	保育・教職実践演習(於:埼玉県 立大学)		1		最終	最終回まとめでの助言。				
5	保育内容の指導法(人間関係) (於:十文字学園女子大学教育人 文学部児童教育学科)	0	15			実践事例・映像資料を豊富に取り入れ、学生が実践をイメージしながら 理解を深められるようにした。				

(;								
	学外実習:期間							
	実習の名称	科目責任者	学内実習:コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫し		/こ从)		
			学外実習:5月~	司~ 福祉子ども学専攻4年次生幼稚園における指導実習の実習事前事?		i事後指道に		
1	教育実習(幼) (於:埼玉県立	0	6月3週間	おいては、幼稚園における実習とこれまでの学習を有				
_	大学))	学内実習:4月~	れるように工夫した。				
			1月、15コマ	10000710110700				
			学外実習:9月1) ョ前事後指道 <i>に</i> お				
2	教育実習(幼) (於:埼玉県立		週間	福祉子ども学専攻2年次生幼稚園における観察実習の事前事後指導において、1コマ「観察の視点について」担当。2コマ、実習直前、実習後の				
	大学)		学内実習:5月~	グループ別指導を担当。				
	10月、3コマ							
3	 保育実習 A(於:埼玉県立大学)		保育実習 Aについては、福祉子ども学専攻3年次生・社会福祉学専攻68月~9月2週間					
	帝士課程科目履修生の実習訪問指導							
4	保育実習 A事前事後指導(於:埼 4月~11月			保育実習 A事前事後指導においては、1コマ 安全について担当、事前				
	玉県立大学)		4 ¬ ¬	事後のグループ別指導2コマ担当。及び全体報告会で				
5	保育実習 B(於:埼玉県立大学) 2月~3月2週間 保育実習 Bについては、福祉子ども学専攻3年次・社会福祉学専巧				上学専攻3年			
		次保育士課程科目履修生の実習訪問指導						
6	保育実習 B事前事後指導(於:埼玉県立大学)		保育実習 B事前事後指導においては、1コマ実習直前の指 1コマ での学生指導担当					
	玉泉立入子)			<u> </u>	\ 			
7	保育実習Ⅱ(於:埼玉県立大学)		8月~9月2週間	保育実習 II については、福祉子ども学専攻 4 年次・社	∓次・社会福祉学専攻4年次 │ │			
			保育士課程科目履修生の実習訪問指導					
8	保育実習Ⅲ(於:埼玉県立大学)		8月~9月2週間 保育実習Ⅲについては、福祉子ども学専攻4年次・社会福祉学 保育士課程科目履修生の実習訪問指導					
	保育実習 事前事後指導(於:埼							
9			4 コマ 保育実習 II 事前事後指導においては、責任実習に係る指導 1 コマ、事 事後のグループ指導2コマ担当。及び全体報告会での指導。			コマ、尹則		
	「ニボニハテ) 保育実習Ⅲ事前事後指導(於:埼			保育実習III事前事後指導においては、事前事後のグループ指導2コマ担				
10	玉県立大学)		3 ⊐ マ	当。及び全体報告会での指導。				
	ヒューマンケア体験実習(於:埼		7月1日間 9月1	1 7月オリエンテーション時、自己紹介についてのトピック講座講義を担				
11	玉県立大学)	0	週間	当。他				
(4	^上							
	対象 期間 主指導・副指導の別及び指導人数							
1	卒業論文 2022.4~2023.2			主指導 3名 副指導	<u>i</u>	3名		
([5) その他							
	名称 期間			概要(教育内容・方法等において工夫した点)				
1	該当なし							
4.	社会貢献活動							
(:	1)講演会、研修会、公開講座等の請	請師						
	講演会、研修会、公開講座等の名称		主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年			
	該当なし							
(2	2)国、自治体、学術団体等における					₩ HD		
1	国、自治体、学術団体等の名称			委員等の名称	任期			
-	1 三郷市			障がい者計画・障がい福祉計画等懇話会委員 2020.4~				
_	2 北本市			子ども・子育て会議委員 2021.8~2023				
	3 北本市 子どもの権利委員会委員 2022.9~2023.3							
(;	(3) ジャーナリズムでの発言							
1	メディア等の名称 内容 1 該当なし							
	1 談当なじ (4) その他							
	項目 相手方等					期間		
1	1 該当なし							
	5. 学内運営							
項目						期間		
1	1 全学的委員会及びセンター業務等 ハラスメント等防止対策				2022.4~2023.3			
				相談員:子育て分野		~2023.3		
	2 工							

3	大学広報活動 オープンキャンパスにおける模擬授業								
4	4 学科等における委員会等 保育士関連科目履修者選考								
5	5 学生支援 1年生担任 1年1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1年1日 1								
6	学生支援チアダンスサークル「PRIMROSE」顧問								
6.	5. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)								
	受賞名	主催	主催						
1	該当なし								
7.	7. 特許の取得								
	特許名	特許番号		登録年月					
1	該当なし								
8.	3. 特記事項								
1	該当なし								